

令和4年度「緑と水の森林ファンド」公募事業
(一覧表)

公益社団法人 国土緑化推進機構

令和4年度「緑と水の森林ファンド」公募事業一覧表

番号	事業名	事業概要	事業実施効果等	申請者	都道府県
【普及啓発事業】					
1	添別ブナ林を活用した森林環境教育活動 (森のようちえん)	黒松内町の添別ブナ林の有効活用し、青少年を対象とする森林ESDの推進するため、近隣市町村の幼児、小学生、その保護者を対象に森のようちえん活動を行う。	活動に参加した子どもたちは、森の魅力を体験的に知ること、森づくりの担い手となる。活動に参加した保護者にとっては、メンタルヘルスケアになり、日常的に森へ関わるきっかけとなる。身近な森林での地域内外の交流の場を創出することで、近隣市町村の住民へ森での活動の機運を高めることができる。	黒松内ぶなの森自然学校運営協議会	北海道
2	眺望山自然休養林を活用した健康増進活動	地域にある森林公園を使用して、市民・小学校児童を対象とした森林セラピー体験活動を実施し、森林が持つ心理的なりラクゼーション効果を体験してもらい、ストレスからくる病気やいじめの予防につなげ、市民の健康増進や明るく安全安心な街づくりに資する。	県内のテレビ・新聞等に取り上げられることにより、森林を活用しての地域住民の病気予防と市民生活・学校生活のストレス軽減等や健康増進意識を育むことができる。また、当協力が毎年実施している緑の募金「家庭募金」の推進や森林・緑への理解が深まる。	沖館地域緑の募金推進協力会	青森
3	青少年への緑を通じた環境教育推進事業	県内の緑の少幼年団の育成強化を図るため、森林公園や地域の里山を活用し、野外教室や木工教室、交流会を実施し、次代を担う青少年に、森林・緑に対する理解を深め、生物多様性の保全や地球温暖化防止の意識を育む。	森林公園や地域の里山を活用し、参加した子供達が森林の多面的機能や地球温暖化防止等に重要な役割を果たしている事を学び、さらなる緑化意識の高揚を図る。	青森県緑の少幼年団連盟	青森
4	コロナに負けない里山SDGs活動	ウィズコロナ時代において、子どもたちが「森林体験」や「木のものづくり体験」にふれ、環境について楽しく学ぶ機会を提供すると共に、「SDGs」の普及啓発活動を行う。	子どもたちが自ら考え、森林とSDGsの認識を深めることができる。また、ウィズコロナ時代における体験学習の場を提供できる。	特定非営利活動法人 おどろ木ネットワーク	青森
5	里山整備に若い力をへきのプロジェクト～	全校生徒で地域の里山を整備し、マツタケが生育する里山の環境作りをし、間伐材を活用してシイタケ等を栽培し、持続可能な森林環境教育の促進に取り組む。	里山整備及び間伐材を活用したキノコ類の栽培により、豊かな自然と恩恵を見つめ直し、自然と共生する生活について考えるられる。地域住民と協働することで、地域社会の一員である自覚が高まり、地域の森林環境の持続的な保全の取り組みで、地域の活性化や未来に貢献する意識の高揚が期待される。	岩手県立 大野高等学校	岩手
6	森フェス2022 in 遠野	市民の森林への関心低下から、獣害や豪雨による土石流災害が各地で発生している。この状況を改善するため、一般市民を対象に、森林を地域づくりに結びつけるためのセミナーや、体験会、木工クラフトマルシェなどを森林内で開催し、森林への理解と関心を高める機会とする。	これまで森林や自然にあまり関心がなかった人が、先進事例に触れ、誰でも気軽に参加できる体験を通じて、森林や林業への理解が深まる。	特定非営利活動法人 遠野エコネット	岩手 (新規)
7	森はサステナブル、未来にむけて学び、行動しよう! ESD アクション for SDGs	体験学習を通して自然と暮らしが親密であることを学び、子供たちが自然を活用し生きる力を育むことを目的とする。	①森林体験学習参加者たちの森林・環境に対する意識が高まる。 ②自然の恵みを共有し食や燃料として利用することで人間力が向上。 ③森づくりによって森林の多面的機能が向上する。	特定非営利活動法人 水守の郷七ヶ宿	宮城
8	自然にふれよう 山のがっこう	市民参加の森林づくり運動を通じて、8月11日の「山の日」、地域の森林・林業について理解を深め、山の恵みに感謝する。	・森林や環境などについての認識と理解 ・次世代のリーダー育成 ・環境教育の普及啓発	特定非営利活動法人 SCR	宮城

令和4年度「緑と水の森林ファンド」公募事業一覧表

番号	事業名	事業概要	事業実施効果等	申請者	都道府県
9	沈黙しないでピカピカ里山にしませんか	「角館」城下町に隣接した里山が利用されず放置され、機能低下している状況改善を目的に、都市と地域住民の交流推進のため、国際教養大学や大曲支援学校との地域連携を軸に、里山の林内環境整備・木の文化への理解を深める交流活動を目的とする。	武家屋敷隣接の里山を使って、各地から集まっている学生[国際教養大][大曲支援学校]と地域住民との交流による都市と地域の活性化が進展する。	NPO法人 角館里山再生プロジェクト	秋田(新規)
10	「木のおもちゃとあそび」木育推進プロジェクト	多世代の年齢層が木のおもちゃに触れ、あそびを楽しむことにより「木」という素材への理解を広めることを目的として、木のおもちゃの体験広場と木育ワークショップを実施する。	秋田駅周辺は、パスターミナルの木造化や駅の内装木質化など、木材利用が拡大しているが、本事業実施により木材利用推進への普及啓発に繋がり、県民等の木材利用への機運醸成が期待できる。	あきたグッド・トイ委員会	秋田(新規)
11	フォレストサポート・2022	①2015年に植樹した「森」の下刈り等の手入れをし、森づくり保全活動に取り組む。 ②森や木にふれる森林体験学習を通じ、より森林を理解し環境問題への理解を深め、SDGsに貢献する。	森づくり活動により地域の里山保全に寄与。「育樹」の大切さを学び、環境問題(地球温暖化等)への理解を深める。自然に触れることで五感が養われ、また「自然の恵み」を活かす体験により、子どもたちの健全な成長に寄与。一般市民との協働によって、森づくりに対する関心を促し、認識を深めることに寄与。	ガールスカウト 山形県連盟	山形
12	地域材の利用拡大と木育の推進事業	地域材の利用拡大や木育を目的とした「置賜『地材地住』運動」を推進するため、保育園等で木工教室を開催すると共に、山形大学と連携し森林環境セミナー等を開催する。	保育園児等が木に触れることで森や木の文化の認識を深め、地域材の利用拡大につながる。山形大学と連携することで、地域材を利用した新たな活用方法を創出し、木を活かした豊かな暮らしを普及啓蒙できる。	置賜「地材地住」ネットワーク	山形(新規)
13	地域材による木工技術の普及と木材利用の普及促進事業	地域材の利用拡大のため、間伐材を活用した木工技術の普及を行う。また、森林の役割や魅力を多角的に発信することにより、環境意識の啓発と木材利用の普及促進に寄与する。	八溝山の間伐材の活用や木工技術の継承が地域材の普及につながる。更に森林環境に対する理解を深め、環境教育としての効果が期待できる。	特定非営利活動法人 やみぞの森	茨城
14	暮らしと森林のつながり発見事業	里山資源を実際に採取するところから触れ、利活用を体験することで、森林と里山を身近に感じてもらい、その資源循環を実感を持って学ぶ機会となる。	参加者は自らの手で木を切り出し、材料として活用することで、山の木を使うことができるという実感、森林と人々の距離を縮める効果が期待できる。茅葺き職人、民家学習関連団体等森林と関わる専門団体と連携することで、森林環境の体験と理解を人々に提供する。SNSやHPを通じて発信することで波及効果期待。	ヤサトジム	茨城(新規)
15	「協力隊の森」Y20	「協力隊の森(茨城県常陸太田市里川町)」の流域には希少種が生息しているが、その保護・保全を目的とする生態調査を実施する。	ESDの推進による水・森林環境の理解が地域社会(住民と学校)に深まる。弊会会員の1-2割が教育機関関係者であり、その配属先での波及効果が期待できる。	青年海外協力隊茨城県OV会	茨城(新規)
16	荒廃している里山林(5ha)の再生と活用事業	里山林、通称「冒険の森」の保全整備と活用を通じて自然環境の保全や地域住民の憩いの場を提供することでいつまでも安心して住み続けられるまち・地域づくりを目指す。	太陽光開発が進む中、地域の森林を守る防波堤になっている。間伐材は全て社会福祉施設の給湯用燃料の薪として搬出。不法投棄の防止…谷津田の見通しの確保と大型ごみの撤去。	なか自然の会	茨城

令和4年度「緑と水の森林ファンド」公募事業一覧表

番号	事業名	事業概要	事業実施効果等	申請者	都道府県
【基盤整備事業】					
1	森でコミュニケーションしよう「里山再生プロジェクト」	1985年の宅地開発により里山としての機能を失った森を、大学・地域住民・NPO・名取市が連携し、公共財として捉え再生する。	教職協働によって里山を持つ大学として教育環境の充実、同時に市民と学院との多様な交流形成と生物多様性の保全が図られる。	学校法人 尚綱学院	宮城
2	ヤマアジサイの森の調査隊とボランティア育成	森のボランティア育成講座とヤマアジサイの生息調査、森の清掃作業	森のボランティアの参加者を増やして、地域に活動を知らしめることができる。	倉淵ヤマアジサイの会	群馬
3	大学生を対象とした森林環境教育プログラム	都内近郊の大学生を対象に、森林保全活動体験を通して森林の大切さを学び、中山間地の地域社会の生活や文化、直面している課題にふれて行動につなげる環境教育プログラム。	森林や中山間地を訪れる機会のない東京近郊の大学生（日本人、留学生）が、森林保全や地域の暮らし、文化の体験を通して、森林や中山間地の地域社会のあり方、価値、課題にふれることで、自分の問題として捉え、行動のきっかけとする環境教育プログラムを行う。	特定非営利活動法人 Peace Field Japan	東京
4	子ども樹木博士認定活動の活動支援の充実とネットワークの強化による森林環境教育の推進	子ども樹木博士認定活動の実施のハードルを下げるため、新たな教材の作成やプログラムの公開など活動支援を充実し、実施団体のネットワークの強化を図る。	子ども樹木博士認定活動を通じて、森林・樹木に関心を持つ子供たちが増加することにより、次世代の森林の理解者が増大する。	子ども樹木博士認定活動推進協議会	東京
5	ソフィアの森の整備	林内歩道等の整備を図り、上智大学の学生だけでなく地域の住民や子どもたちに親しまれる環境学習・ESDのフィールドとしての活用を推進し、環境意識の啓発に貢献する。	森林環境体験活動による学生の環境意識の向上、地域のNPOとの協働活動によって地域の子どもの達や地域住民の環境意識の啓発に寄与。留学生に関しては特に日本における森林環境及び環境教育の理解の促進。	上智大学大学院 地球環境研究科	東京
6	安全で楽しい里山保全活動を指導できるリーダー養成事業	里山保全活動をボランティアとともに、安全で楽しく進めることのできる現場リーダーを養成するとともに、横浜・多摩地域の活動団体とのネットワークを強化する。	横浜・多摩地域の里山において現場リーダーが増える。団体のネットワークを通して保全活動の内容がよくなり、豊かな森林が増える。	モリダス	東京
7	森林の活用方法を学び、健やかな持続可能な暮らしを考える「森のきほんを学ぶ講座」開催事業	身近にある森林を活用するための知識技術を「森のきほんを学ぶ講座」として体験的に学び、リーダーとして身近な森林を活動の場にできる人材を育成することを目的とする。	地域の環境を守り、活用する大人の姿をみて、子どもたちへの体験的な環境教育の場を提供し、同志の仲間作りができる。環境に関心を持ち、自分たちにはできることは何かを考え行動するきっかけになる。	のいちご会	長野 (新規)
8	森のようちえん・プレーパークの活動サポート事業	県内の子どもたちの自然体験活動に携わる実践者が、強みを活かして学び合い、活動を始めた人やこれから活動を始めたい人たちをサポートすることで、森のようちえん・プレーパークの担い手を増やすことを目的とする。	子どもの自然体験活動実践団体の教育内容・運営体制面のレベルアップ、県内の子どもたちの自然体験活動に携わる実践者が増えることで、地域の子どもの達が自然と親しむ機会が増える。	ぎふ森 遊びと育ちネットワーク	岐阜 (新規)
9	陀羅尼助(だらにすけ)の郷で森林づくり in 天川村洞川 Part3	県内各地で活動する森林ボランティア団体のリーダー養成・ネットワーク構築や、森林づくり活動を通じた農山村と都市住民との交流を奈良県天川村で実施する。	・植樹済みキハダの状態観察、下草刈りで育林を学ぶことが出来る。また、キハダ植樹で、広葉樹による彩のある持続可能な森林づくりができる。 ・森林づくり活動を通じ、農山村と都市住民等と交流することで、今後の連携を期待できる。森林ボランティアリーダーとしてのスキルアップが期待できる。	奈良県森林ボランティア連絡協議会	奈良

令和4年度「緑と水の森林ファンド」公募事業一覧表

番号	事業名	事業概要	事業実施効果等	申請者	都道府県
10	里山・自然体験リーダー・インストラクター人材育成@東広島	身近な森林や里山を整備しつつ利用して、自然体験活動や森林環境教育を提供できる人材を育成することを目的に、研修や勉強会を実施する。	森林を活用した自然体験活動を実施できる人材が増えることにより、森林環境教育がより多くの青少年に提供されて普及啓発に繋がる。また、人材ネットワークが形成されることにより情報交換や連携が図られ、自然体験やそれに際する森林利用における質の向上が期待できる。	森林ボランティア団体 もりゆう	広島
11	『森林資源を暮らしに活かす』先人の知恵を未来につなぐ体験事業	昔ながらの里山暮らしを再現し、森林資源の様々な活用方法を学ぶ。子どもも大人ものびのびと季節を感じ、先人の知恵を体験できる居場所として築150年の古民家を活用する。	子供達を中心とした椎茸生産を体験することで、地域住民との交流・親睦が図られ、地域の活性化、森林の整備の必要性、更には古民家を活用した定住促進の推進が図れる。	山内自治振興区	広島 (新規)
12	徳島県森林づくりリーダー養成講座	県民、企業・団体等の森林づくり活動を支援するため、森林づくりの指導者(森林リーダー)を養成(認定)する講座を実施する。また、これまでに認定した指導者を対象としたステップアップ講座も併せて実施する。	森林づくりリーダーが、森林づくり活動や森林環境教育等の企画提案・指導等を行うことにより、県民の森林づくり活動の創出が期待できる。また、県民の森林への理解の醸成が図られ、国土緑化の普及啓発に資する。さらに、ステップアップ講座の実施により、活動意欲や技術の向上、連携強化に繋がる。	とくしま森林づくり県民会議	徳島
13	令和4年度 森林ボランティアリーダー養成講座	森林環境学習や自然体験活動及び、森林整備や木材利用を通して森林環境の重要性の普及啓発を行う指導者を養成するとともに、ボランティアネットワークの促進を図る。	短期で様々な視点から森林を学ぶ講座を多く開催することでより沢山の人が関わりを持ち、森づくりや森林環境の重要性、森と人との関わりを伝えていき、森林ボランティアリーダーとして活躍する人材をひとりでも多く養成する。	情報交流館ネットワーク	高知
14	宮崎県みどりの少年団総合研修大会	県内のみどりの少年団等が一堂に会し、活動発表や野外活動等により相互交流を図り、みどりや森林の重要性について理解を深め、自然を愛する情操豊かな青少年を育成する。	活動発表会や交流会等を通じて、みどりや森林の重要性に対する少年団の認識や団員相互の理解を深まり、情操豊かで健全な青少年の育成に繋がる。また、みどりの少年団の代表を全国緑の少年団活動発表大会に派遣することにより、今後の少年団活動のあり方等について見識を深めることができる。	宮崎県みどりの少年団連盟	宮崎
15	産学協同で取り組む「こどものけんちくがっこう」	地域の重要な資源である木材を用いた“ものづくり”を通して、森林から街まで、環境について、子供達が体験的に学ぶ授業を、大学と工務店の産学協同により実施する。	実践的な環境教育を通して、将来の地域づくりに貢献する人材の育成を行う。活動はメディア等で広く紹介されるため、社会への多面的な波及効果も期待される。授業を担当する大学生への教育効果も大きい。	NPO法人 こどものけんちくがっこう	鹿児島
	基盤整備事業 15件				